

平成 3 1 年（令和元年）

青森県海面漁業に関する調査結果書

（属地調査年報）

青森県農林水産部

は し が き

青森県海面漁業に関する調査は、青森県統計調査条例に基づき 22 市町村を対象に毎月実施しているものです。

このたび、平成 31 年（令和元年）の本県における海面漁業の実態を魚種別、漁業種類別及び市町村別に、漁獲数量、漁獲金額について属地ベースでとりまとめましたので、結果書（年報）として公表します。

この結果書が水産行政のみならず広く一般に活用され、今後の本県における水産業振興上の基礎資料として役立てば幸いです。

おわりに、この調査の実施に際し、御協力をいただきました関係各位に対し心から感謝を申し上げます。

令和 2 年 3 月

青森県農林水産部長 高谷 清孝

目 次

調査の要領	1
結果の概要	2
対前年比較表	
第 1 表 魚種別漁獲数量・金額比較表（対前年比）	10
第 2 表 魚種別漁獲数量・金額比較表（対 5 カ年平均比）	12
第 3 表 月別漁獲数量比較表	14
第 4 表 月別漁獲金額比較表	14
第 5 表 分類別漁獲数量比較表	15
第 6 表 分類別漁獲金額比較表	15
第 7 表 主な魚種別漁獲数量比較表	16
第 8 表 主な魚種別漁獲金額比較表	17
第 9 表 漁業種類別漁獲数量比較表	18
第 10 表 漁業種類別漁獲金額比較表	19
第 11 表 市町村別漁獲数量比較表	20
第 12 表 市町村別漁獲金額比較表	21
県計表	
第 1 表 年 総 括 表	22
第 2 表 月 別 表	36
市町村計表	
第 1 表 魚種別漁獲数量及び漁獲金額	42
第 2 表 漁業種類別漁獲数量及び漁獲金額	67
第 3 表 月別漁獲数量及び漁獲金額	72

調 査 の 要 領

1 調査事項

- (1) 魚種別漁業種類別漁獲数量
- (2) 魚種別漁業種類別漁獲金額

2 調査時期

毎 月

3 調査範囲

本県内に水揚げされたすべての海面魚介類（運搬魚介類を除く。）

4 調査方法

調査員が担当区域内的の海面漁業協同組合、魚市場、その他の団体等を毎月巡回し、これらの団体等において作成した台帳等から資料を収集する方法

5 利用上の注意

この調査は属地計上です。属地計上とは、生産物が水揚げされた地域に漁獲量等を計上することをいいます。

また、数値は四捨五入してあるので、各表や統計表中の構成比の和は100%にならない場合があります。

6 記号の表示

「※」：おいらせ町及び階上町の数値については、八戸市と三沢市の数値と重複する魚種があるため、一部合計値に加算していません。

「x」：にじます及びそれに関連する数値については、個人又は法人その他の団体に関する調査結果の秘密保護の観点から、数値を非公表としています。

結果の概要

1. 漁獲数量及び漁獲金額

(1) 概況

平成 31 年の青森県の漁獲数量は 191,322 トン、漁獲金額は 417 億 2,332 万円となった。これを前年と比較すると漁獲数量では 25,383 トン (11.7%) 減少し、漁獲金額では 38 億 2,237 万円 (8.4%) 減少した。

(2) 主な増減要因

漁獲数量及び漁獲金額が前年と比較して減少した主な要因は、「まいわし」、「さば」の漁獲数量が大きく減少したほか、「ぶり」、「さけ」等の漁獲数量も減少したことによるものである。

(3) 過去 5 年間の平均との比較

過去 5 年間の平均と比較すると、漁獲数量では 36,929 トン (16.2%) 減少し、漁獲金額では 117 億 284 万円 (21.9%) 減少した。

漁獲が好調であった魚種は「あかいか」(漁獲数量対平年比 182.4%) 等であった。

一方、漁獲が低調であった魚種は「さば」(42.0%)、「ぶり」(45.9%)、「するめいか」(46.8%)、「さけ」(52.7%) 等であった。

(4) 過去 10 年間の平均との比較

平成 31 年の漁獲数量及び漁獲金額は、過去 10 年間の平均と比較すると数量では 37,133 トン (16.3%) 下回っており、金額では 87 億 9,599 万円 (17.4%) 下回っていた (図 1、表)。

表 年次別漁獲数量及び漁獲金額の推移

年次	漁獲数量		漁獲金額	
	数量(トン)	対前年増減率(%)	金額(百万円)	対前年増減率(%)
昭和63年	841,511		96,007	
平成5年	554,744		83,347	
平成10年	368,219		73,875	
平成15年	280,518		51,655	
平成20年	261,354		53,171	
平成21年	289,027	10.6	51,187	△ 3.7
平成22年	246,690	△ 14.6	51,825	1.2
平成23年	194,243	△ 21.3	46,118	△ 11.0
平成24年	227,492	17.1	44,272	△ 4.0
平成25年	185,844	△ 18.3	44,660	0.9
平成26年	218,638	17.6	48,024	7.5
平成27年	250,026	14.4	52,928	10.2
平成28年	249,654	△ 0.1	63,530	20.0
平成29年	206,233	△ 17.4	57,103	△ 10.1
平成30年	216,706	5.1	45,546	△ 20.2
平成31年	191,322	△ 11.7	41,723	△ 8.4
平成21年～平成30年 までの平均 (A)	228,455		50,519	
平成31年／(A)%	83.7 %		82.6 %	

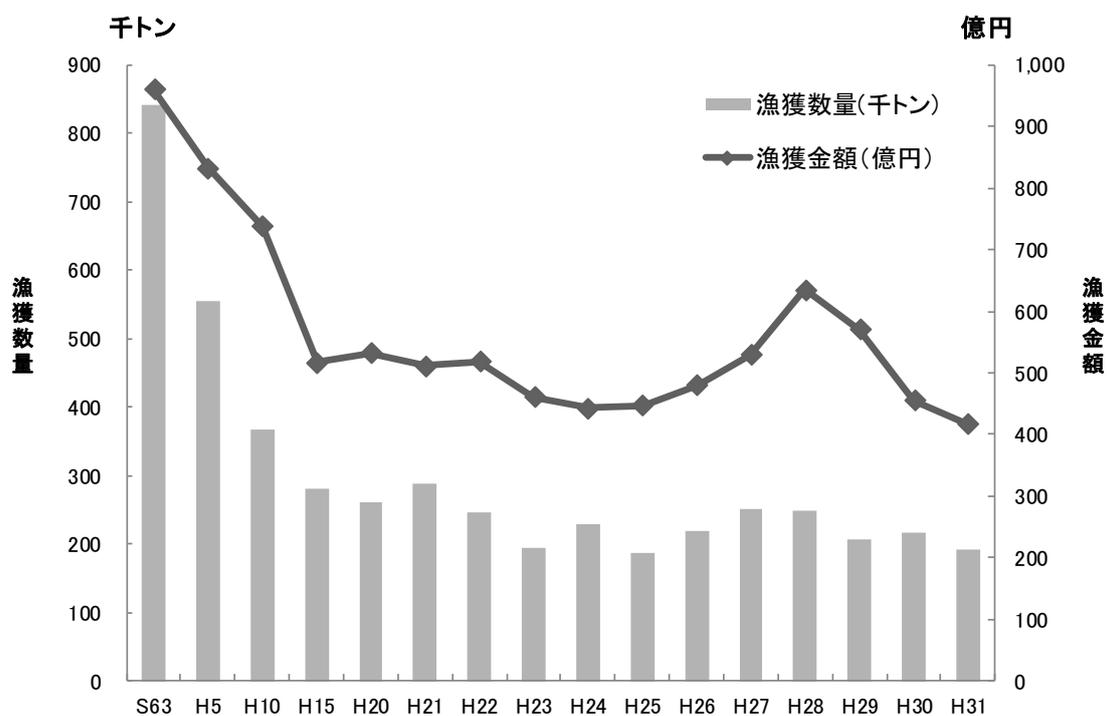


図1 年次別漁獲数量及び漁獲金額の推移

2. 月別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 月別漁獲数量

平成 31 年の漁獲数量を月別にみると、7 月が 29,386 トンで最も多く全体の 15.4% を占め、次いで 5 月の 27,689 トン (14.5%)、6 月の 24,905 トン (13.0%) となっている (図 2、第 3 表)。

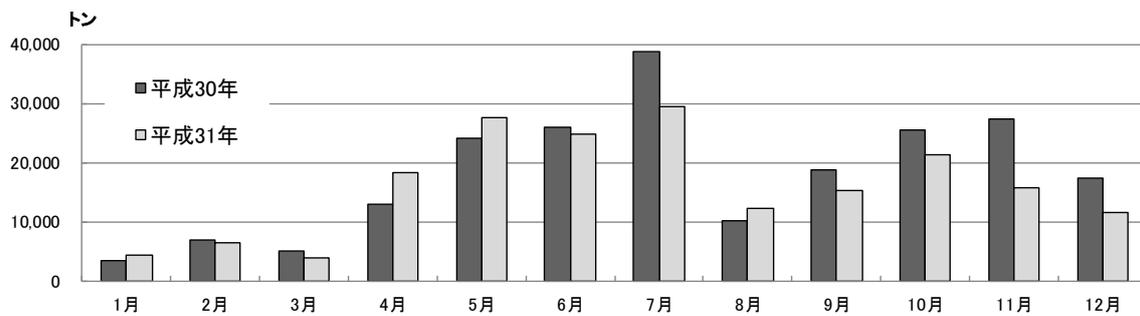


図 2 月別漁獲数量

(2) 月別漁獲金額

平成 31 年の漁獲金額を月別にみると、7 月が 59 億 1,302 万円で最も多く全体の 14.2% を占め、次いで 12 月の 42 億 7,731 万円 (10.3%)、9 月の 41 億 5,226 万円 (10.0%) となっている (図 3、第 4 表)。

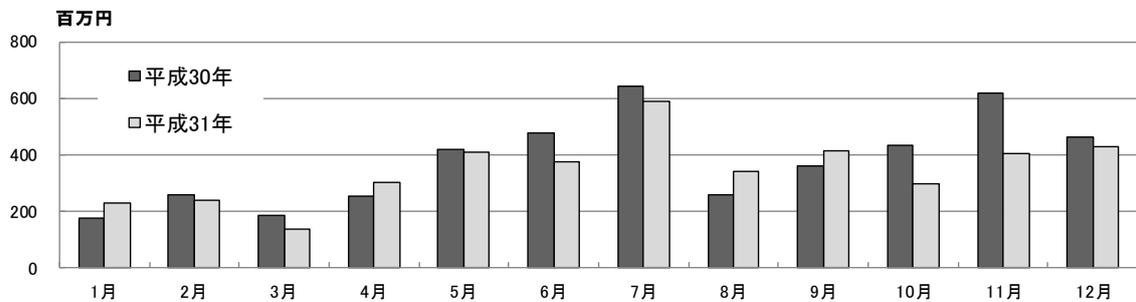


図 3 月別漁獲金額

3. 魚種別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 分類別漁獲数量及び漁獲金額

①分類別漁獲数量

漁獲数量について魚類、貝類等の分類別にみると、ほたてがい等の「貝類」が99,921トンで最も多く全体の52.2%を占め、次いでまいわし等の「魚類」65,783トン(34.4%)、「その他の水産動物」23,866トン(12.5%)、「藻類」1,752トン(0.9%)の順となっている。

これを前年と比較すると、「魚類」は40,682トン(38.2%)減少、「貝類」は13,861トン(16.1%)増加、「その他の水産動物」は1,607トン(7.2%)増加、「藻類」は170トン(8.8%)減少した(図4、第5表)。

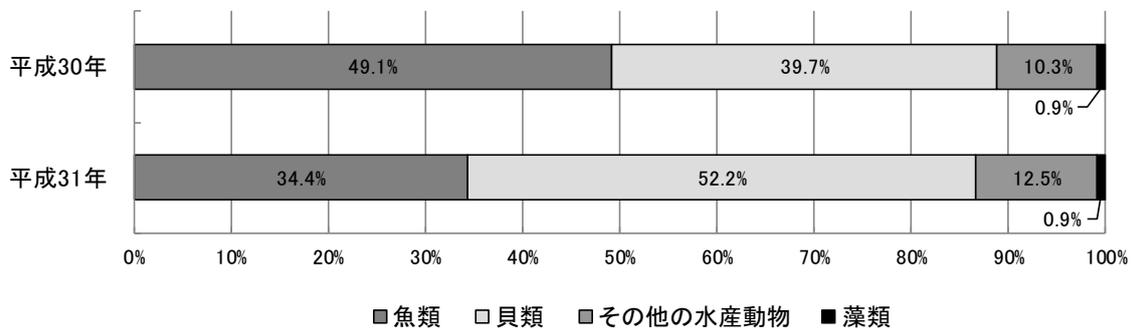


図4 分類別漁獲数量の構成比

②分類別漁獲金額

漁獲金額を分類別にみると、「その他の水産動物」が145億3,240万円で最も多く全体の34.8%を占め、次いで「貝類」138億6,487万円(33.2%)、「魚類」126億1,821万円(30.2%)、「藻類」7億784万円(1.7%)の順となっている。

これを前年と比較すると、「魚類」は32億4,146万円(20.4%)減少、「貝類」は4億5,716万円(3.2%)減少、「その他の水産動物」は1,793万円(0.1%)減少し、「藻類」は1億582万円(13.0%)減少した(図5、第6表)。

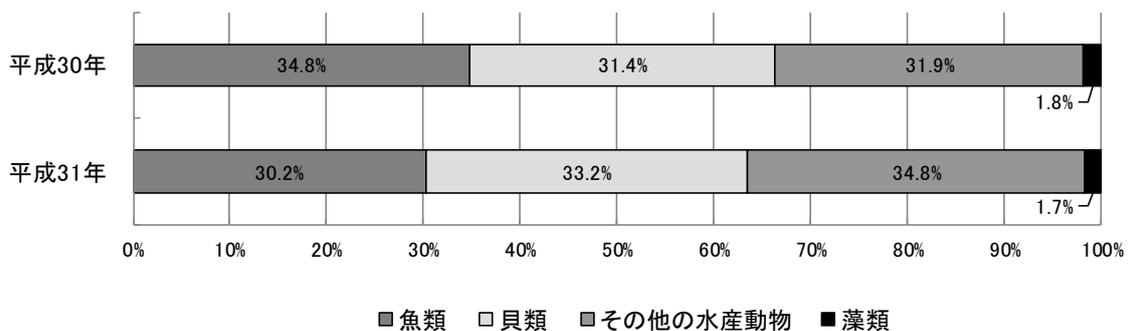


図5 分類別漁獲金額の構成比

(2) 主な魚種別漁獲数量及び漁獲金額

①主な魚種別漁獲数量

主な魚種別の漁獲数量及び構成比をみると、「ほたてがい」99,154トン（構成比51.8%）、「いわし類」28,247トン（14.8%）、「さば」19,360トン（10.1%）、「するめいか」12,017トン（6.3%）、「あかいか」7,152トン（3.7%）、「たら」3,747トン（2.0%）などとなっている。

これを前年と比較すると、漁獲数量が増加した主な魚種及び増加数量は「ほたてがい」13,868トン（対前年増加率16.3%）、「あかいか」2,521トン（54.4%）、「たら」678トン（22.1%）などとなっている。

一方、漁獲数量が減少した主な魚種及び減少数量は「さば」19,512トン（対前年減少率50.2%）、「いわし類」18,931トン（40.1%）、「するめいか」412トン（3.3%）などとなっている（図6、第1表、第7表）。

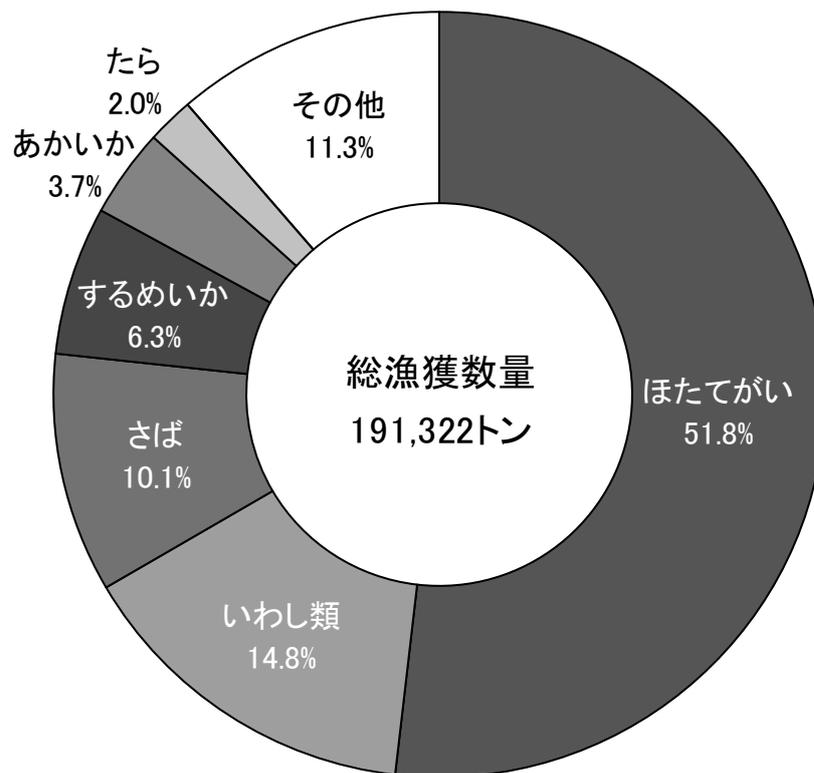


図6 主な魚種別漁獲数量の構成比

②主な魚種別漁獲金額

主な魚種別の漁獲金額及び構成比をみると、「ほたてがい」134億8,449万円（構成比32.3%）、「するめいか」71億7,051万円（17.2%）、「あかいか」30億1,080万円（7.2%）、「まぐろ」24億9,581万円（6.0%）、「さば」22億6,465万円（5.4%）、「なまこ」17億6,254万円（4.2%）などとなっている。

これを前年と比較すると、漁獲金額が増加した主な魚種及び増加金額は「あかいか」9億5,011万円（対前年増加率46.1%）、「まぐろ」5億8,046万円（30.3%）、「するめいか」4億4,269万円（6.6%）などとなっている。

一方、漁獲金額が減少した主な魚種及び減少金額は「さば」19億2,081万円（対前年減少率45.9%）、「なまこ」10億2,144万円（36.7%）、「ほたてがい」3億3,539万円（2.4%）などとなっている（図7、第1表、第8表）。

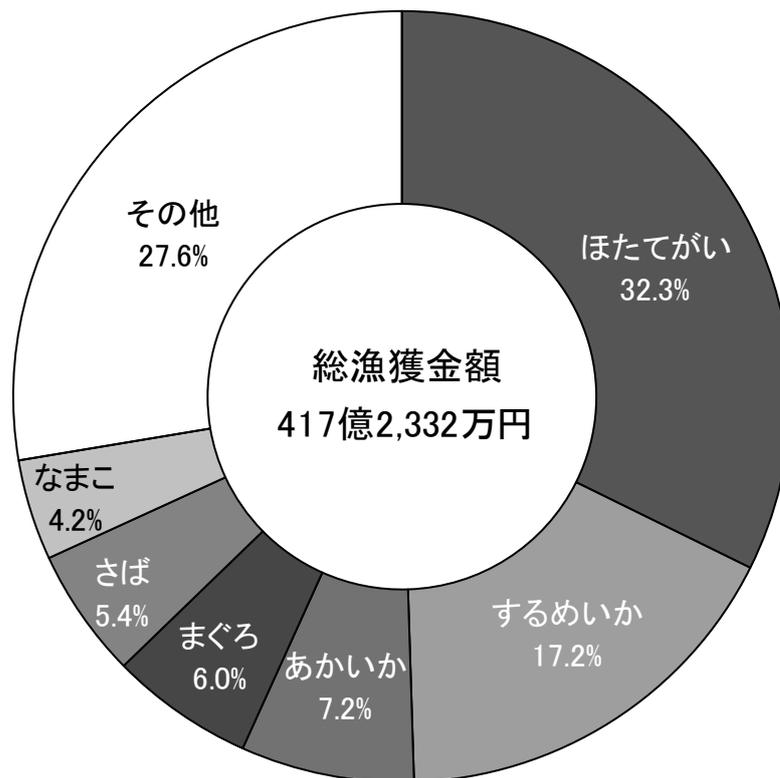


図7 主な魚種別漁獲金額の構成比

4. 漁業種類別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 漁業種類別漁獲数量

主な漁業種類別の漁獲数量及び構成比をみると、「養殖業」が99,236トン（構成比51.9%）で最も多く、次いで「まき網漁業」45,937トン（24.0%）、「いか釣漁業」13,093トン（6.8%）となっている。

これを前年と比較すると、漁獲数量が増加した主な漁業種類及び増加数量は、「養殖業」14,301トン（対前年増加率16.8%）、「沖合底曳網漁業」546トン（7.4%）などとなっている。

一方、漁獲数量が減少した主な漁業種類及び減少数量は、「まき網漁業」40,462トン（対前年減少率46.8%）、「小型機船底曳網漁業」348トン（19.2%）などとなっている（第9表）。

(2) 漁業種類別漁獲金額

主な漁業種類別の漁獲金額及び構成比をみると、「養殖業」が135億3,975万円（構成比32.5%）で最も多く、次いで「いか釣漁業」66億5,280万円（15.9%）、「まき網漁業」43億4,160万円（10.4%）となっている。

これを前年と比較すると、漁獲金額が増加した主な漁業種類及び増加金額は、「沖合底曳網漁業」6億2,940万円（対前年増加率21.6%）、「一本釣漁業」4億5,889万円（21.5%）などとなっている。

一方、漁獲金額が減少した主な漁業種類及び減少金額は、「まき網漁業」18億6,609万円（対前年減少率30.1%）、「小型定置網漁業」6億9,785万円（24.4%）、「小型機船底曳網漁業」5億8,242万円（38.0%）などとなっている（第10表）。

5. 市町村別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 市町村別漁獲数量

市町村別漁獲数量の構成比をみると、八戸市が 66,011 トンで最も多く全体の 34.5%を占め、次いで平内町 26.2%、青森市 10.7%、外ヶ浜町 6.3%、むつ市 4.6%の順となっている。

これを前年と比較してみると、漁獲数量が増加したのは、平内町 9,819 トン（対前年増加率 24.4%）、青森市 4,952 トン（31.9%）、外ヶ浜町 1,145 トン（10.5%）、蓬田村 1,113 トン（20.7%）ほか 11 市町村となっている。

一方、漁獲数量が減少した市町村は、八戸市 41,993 トン（対前年減少率 38.9%）、野辺地町 833 トン（25.3%）、横浜町 542 トン（8.7%）、むつ市 402 トン（4.3%）ほか 3 町となっている（図 8、第 11 表）。

(2) 市町村別漁獲金額

市町村別漁獲金額の構成比をみると、八戸市が 135 億 8,744 万円で最も多く全体の 32.6%を占め、次いで平内町 16.5%、むつ市 6.9%、青森市 6.3%、大間町 5.9%の順となっている。

これを前年と比較してみると、漁獲金額が増加した市町村は、大間町 5 億 9,939 万円（対前年増加率 32.3%）、深浦町 2 億 1,563 万円（11.9%）、青森市 1 億 9,594 万円（8.0%）、三沢市 6,880 万円（9.4%）ほか 4 市町村となっている。

一方、漁獲金額が減少した市町村は、八戸市 30 億 7,095 万円（対前年減少率 18.4%）、むつ市 7 億 1,582 万円（19.9%）、野辺地町 2 億 8,523 万円（29.8%）、外ヶ浜町 1 億 6,898 万円（7.1%）ほか 10 市町村となっている（図 9、第 12 表）。

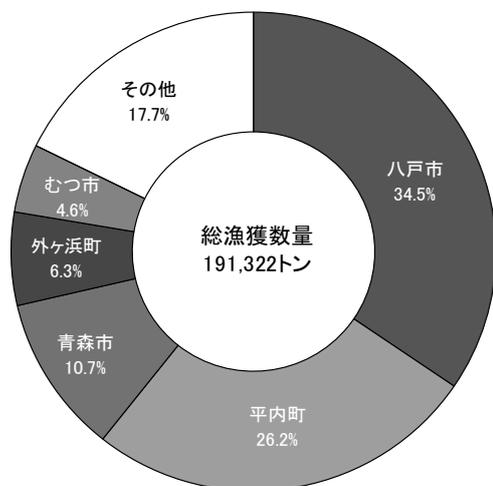


図 8 市町村別漁獲数量の構成比

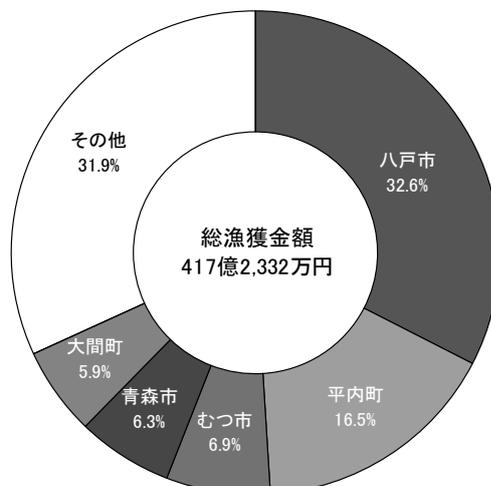


図 9 市町村別漁獲金額の構成比